

都留高校 図書館通信

令和2年度 5号

10月、実りの秋。冬に向けて活力を蓄える時。そして10月と言えば、秋の読書週間ですね！ 図書室も様々な秋を楽しむ本を揃えて皆さんを待っています。遊びに来て下さい。

実は今、放課後の図書室が素敵ですよ。図書室の窓辺が青から藍色やがて漆黒へと染まり、夜の海に浮かぶ船のようで時間を忘れる心地よさ。読書にも物思いにもおすすすめです。18時まで開館しています。自習する常連さんがいます。皆さんも一緒に船出しませんか。

では、9月の利用状況を報告します。
9月 309冊 年度累計 1,198冊
教職員含めて 1,948冊 のべ 993名
たくさんのご利用ありがとうございました。



秋の読書週間 & Happy Halloween



10/27~11/9

- ♠ **さまざまな秋の本**
芸術の秋、食欲の秋、もちろん読書の秋も、みんなで楽しめる秋の本を展示します。おすすめの本も募集中～♪
- ♠ **雑誌バックナンバー&付録あげちゃいます。**
10/27(火)~30(金) 昼休み
- ♠ **10/30(金) Happy Halloween!**
クイズに答えて本を借りた人にスペシャル treat を♡

図書館マスターへの道。その二、検索機は語らせよ。

検索機で探したけど本が見つからなかった、という経験ありませんか？
インターネットの検索方法とは大分勝手が違います。
検索方法のコツ&テクニックをマスターして、
寡黙で賢い検索機に、もっと多くの情報を語ってもらいましょう！

1. 基本の探し方

本の名前か**本を書いた人**に、それぞれ書名や著者名の一部を3文字以上入力します。

2文字では、「もっと長い言葉を入力して下さい」と出てしまいますので、ひらがな・カタカナでの入力がおすすすめです。

例：「進化」×、「しんか」か「シンカ」○

2. **詳しく探す**で本を探す。

本の名前「しんか」で検索すると230件の本が抽出されてしまいました。もう少し絞り込みたいとき、この**詳しく探す**で、2つの検索ワードを掛け合わせて検索することができます。

例：1つ目「せいぶつ」×2つ目「しんか」= 18件

3. 検索の範囲を広げる。

探している本が本校になくても、他校の蔵書を相互貸借することができます。検索の範囲を**地域**や**全部の本**に広げてみましょう。

全部の本：日本で出版されている本全て。

地域：郡内地域の高校の蔵書

学校：本校図書室の蔵書

4. 検索結果を活用する。

結果の一覧が出たら、本を選び**見る**をクリックすると、「本の内容」を見ることができます。書名や著者名の他に、一般件名、分類記号、抄録など、その本の詳しいデータが記されています。

検索ワードが書名に入っていない本も並んでいますね。これは、**本の名前**で検索すると、書名だけでなく、本の内容のデータも含まれるからです。学習や研究テーマの資料探しに役立つというわけです。

「件名」とは、本の内容を簡潔な「ことば」で表したものの。数字で表した「分類記号」とともに要注目ですよ！ 書名や著者名からでなく、探しているテーマの本を件名や分類記号を手掛かりに検索することができるからです。

～その方法は、次回 5. **高機能検索**へ続く～

◆ 今を読む 新刊

『武漢封城(ロックダウン)日記』 郭 晶著 稲畑耕一郎訳 潮出版社 (498/カ)

「一月二十三日、武漢ロックダウン」29歳の女性ソーシャルワーカーが封鎖下の日々をネット上綴った克明な記録。都市封鎖という異常事態の中で庶民が直面する社会問題が浮き彫りになる。

『感染症の日本史』 磯田道史 文春新書 (493/イ)

宮沢賢治は妹トシの看病のとき完璧な感染症対策を行っていたという。政治家や文豪の日記や書簡から個々の感染症「患者史」を紐解き、歴史から学ぶ「総合的な知性」が今必要と説く。

『SNS暴力 なぜ人は匿名の刃をふるうのか』 毎日新聞取材班 毎日新聞出版 (007/エ)

誰でも自由に発信できるSNSが、「なぜ凶器として使われてしまうのか。被害者や加害者はどういう人なのか。」木村花さんの事例を端緒に、ネットやSNSの光と影を当事者も含め徹底取材。

『歌集 滑走路』 萩原慎一郎 角川文庫 (B911.1/ハ)

「非正規の友よ、負けるな ぼくはただ書類の整理ばかりしている」いじめ、非正規雇用、恋、32歳で急逝した歌人の遺作となった第一歌集の文庫化。本人や両親のあとがき、解説も胸を打つ。

『かか』 宇佐見りん 河出書房新社 (913.6/ウ)

「みっくん、うーちゃんはね、かかを産みたかった。かかをにんしんしたかったんよ。」21歳大学生の三島賞最年少受賞作。女という性の理不尽を独自の方言?で畳みかける衝撃の最新文学。

◆ 話題の本

『星の子』 今村夏子 朝日新聞出版 (913.6/イ) … 芦田愛菜主演で映画化!

幼少期病弱だったちひろを救った「金星のめぐみ」という水。両親はその新興宗教にのめり込み、姉は家出し親戚は疎遠に。中学生になったちひろ自身にも揺れる思いが芽生えていた。「だまされてるの?」「わたし?だまされてないよ」憧れの南先生の冷たさに比べ、なべちゃんやクラスメートのユーモアと温かさは救いだ。「信じる」とは言えなくても、寄り添うことはできるんだ。

『罪の声』 塩田武士 講談社 (913.6/シ) … 小栗旬、星野源で映画化!

「これは、自分の声だ。」テラーを営む俊也は、父の遺品から見つけたカセットテープを再生すると、それは31年前の未解決事件で恐喝に使われた音声だった。「グリコ・森永事件」を題材に、「劇場型犯罪」に巻き込まれた「子どもたち」を焦点に描いた感動作。事件の核心に迫る中、新聞記者の阿久津は言う。「未解決事件だからこそ、今、そして未来につながる記事が必要なんや」。

『日本蒙昧前史』 磯崎憲一郎 文芸春秋 (913.6/イ)

前書を読んで昭和という時代を知りたくなったらこちらを。「グリコ・森永事件」含め様々な事件が、読点で繋がる文体で連綿と語られ「蒙昧」の歯車が止まらない。あの頃が前史ならつまり今も。

～人気の続篇や映画の原作も、たくさん新着～

香月美夜『本好きの下剋上 第5部 女神の化身Ⅲ』、日向理恵子『火狩り王〈四〉星ノ火』
丹沢まなぶ『小説 映像研には手を出すな!』、野中ともそ『宇宙でいちばんあかるい屋根』
額賀滯『沖晴くんの涙を殺して』、池井戸潤『半沢直樹 アルルカンと道化師』 etc

♡ もの思う秋…。

『あつかったら ぬげばいい』 ヨシタケシンスケ 白泉社 (E/ヨ)

ヨシタケさん、そんなこと分かってますから(プリプリ)、忙しいんですから(キリキリ)と思っても、読んだらやっぱりクスッと笑って頑なな心がほどけていった。ピンと張りつめて辛そうな人がいたら言ってあげてね。「あつかったら ぬげばいい」。

『30日で立ち直る 失恋おりがみ』 秋本 康 講談社 (754/ア)

失恋に限らず、ココロの諸症状に効きます。図書室で折ってみませんか。

♣ 編集後記 「雑誌あげちゃいます」楽しみにしててね。図書室では31誌購読しています。どの雑誌がどんな内容で、どんな学習の参考資料になるか、普段から目を通しておくといいね。雑誌もきっと喜びます。司書落合

